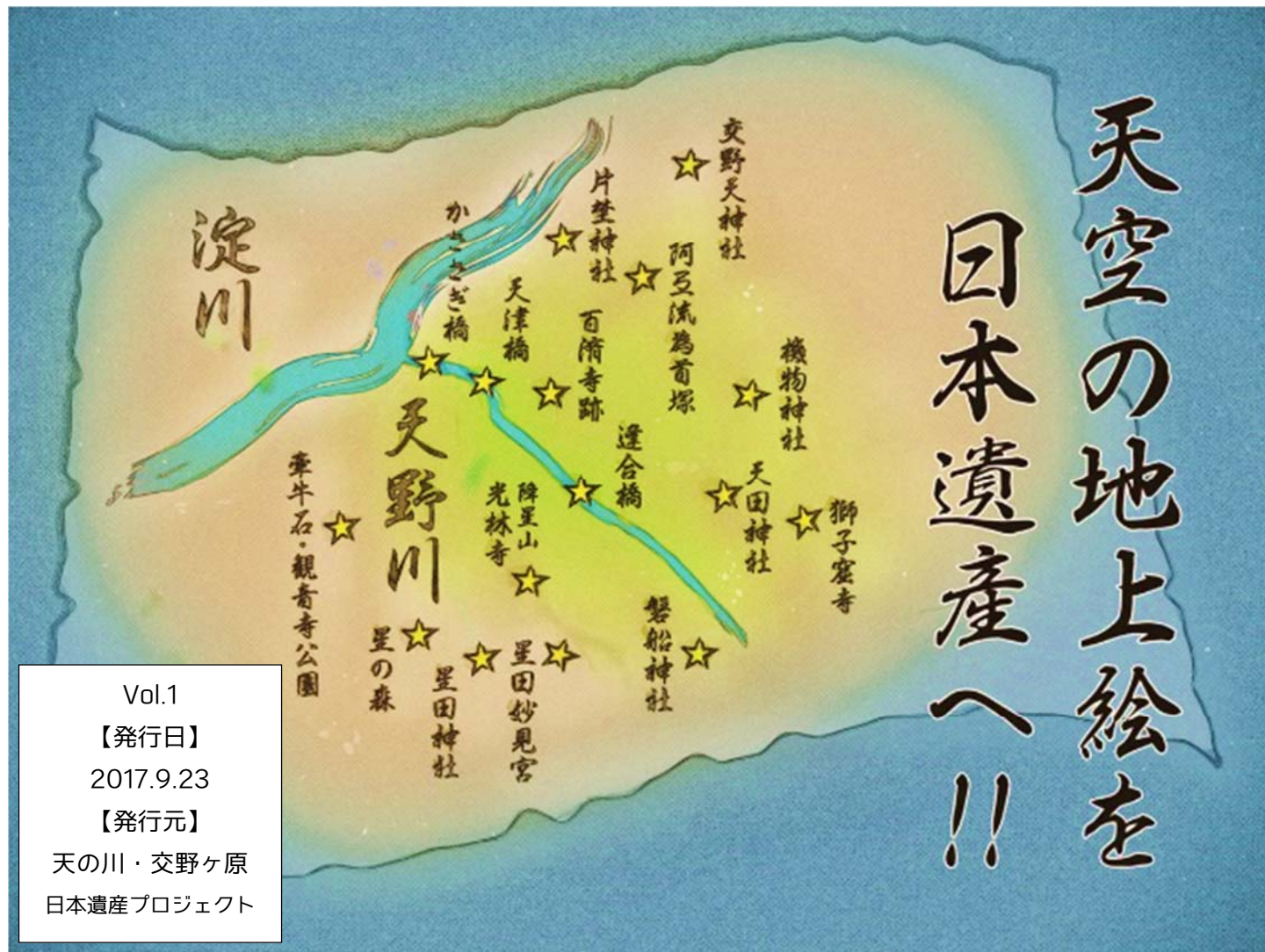


# 交野ヶ原物語



創刊にあたって 実行委員長 中野一雄

この度、交野ヶ原の魅力伝える雑誌「交野ヶ原物語」を刊行するにいたしました。ご存じのとおり、現在の枚方市・交野市に広がる丘陵地は、古くから交野ヶ原と呼ばれてきました。記紀万葉以前から人々の生活や文化の足跡が残り、今日に至るまで時代ごとに様々な表情を私たちに見せてくれます。

この交野ヶ原を、文化庁が認定する日本遺産へ申請・登録を目指し、地域の誇りとなるよう、天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトは、日々、活動を続けております。

日本遺産の申請・登録への道のりは長く険しいものです。また、念願叶い、日本遺産へ登録されたとしても、交野ヶ原に縁のある方々にとって、「他人事」であっては日本遺産の看板も意味がなくなってしまうと思います。

そこで、私たちは、交野ヶ原をより生活の中で身近に感じてもらいたいと考え、「交野ヶ原物語」を刊行するにいたしました。交野ヶ原という場所にまつわる過去・今・未来の時間軸、そして、現代に生きる私たちの生活という横軸をつなぎ、老若男女が時を超えても手に取りたくなる「交野ヶ原物語」を皆様とともに創り上げてまいりたい所存です。

いずれは交野ヶ原の皆様にとってかけがえない「交野ヶ原物語」となることを祈りつつ、創刊の言葉とさせていただきます。

## 注目イベント！ 第十一回 アテルイ・モレ慰霊祭

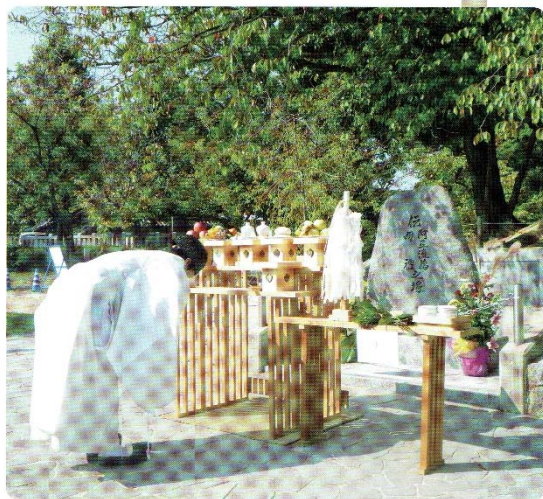
平安時代の初め頃、東北地方の族長アテルイは、陸奥胆沢（むついさわ・岩手県）を本拠地にして、桓武天皇の軍に抵抗して東北地方を守り続けました。しかし、八〇二年（延暦二十一年）征夷大将軍坂上田村麻呂に降伏し、同年、旧暦八月十三日に、アテルイを支え続けたモレと共に、河内国で処刑されました。東北の人々の暮らしを守るために、命をかけた偉大な人物でした。坂上田村麻呂は「地方のことは地方に任すべし」という思いがありました。「アテルイは信頼できる人物である。今後の東北の運営はアテルイに任せるべきである」と助命嘆願したのですが、その願いは叶えられませんでした。

枚方八景で桜の名所とされている牧野公園の中に、「伝アテルイ・モレの塚」があります。この塚は、昔から「エミシの領袖の首塚」として伝えられてきました。坂上田村麻呂は、二人を埋葬するのに最もふさわしい場所として、鎮魂と土地鎮めの霊験あらたかな片笠神社の社領地を選ばれたのです。平成十九年三月に、「伝阿豆流為・母禮之塚」の碑が建立されました。そして、この年の旧暦八月十三日が、二人を慰霊するのに最もふさわしい秋分の日（九月二十三日）でしたので、この日に第一回アテルイ・モレ慰霊祭を行いました。それ以降、アテルイ・モレ慰霊祭を、毎年「秋分の日」に行っています。今年が第十一回目の慰霊祭になります。慰霊祭に参加して下さって、坂上田村麻呂の至誠と、アテルイ・モレの志を汲み取って、畏敬の誠を捧げてください幸いです。



### 伝 阿豆流為・母禮之塚慰霊祭

日時：毎年九月秋分の日 午前九時～  
場所：枚方市「牧野公園」  
（京阪電車「牧野駅」下車東へ徒歩五分）  
伝 阿豆流為・母禮之塚 前



### 編集スタッフより

ライター大募集！子どもから若者、お年寄りまでが楽しめる内容を目指します。住民の方へはもちろん、交野ヶ原に来てくれた方々へ向けて、交野ヶ原の魅力を発信する物語をみんなで作っていきませんか？私達の住む交野ヶ原の魅力を探してどんな発信していきたいと思います！交野ヶ原のおすすめスポット・風景・史跡・歴史や文化など、交野ヶ原（枚方・交野）にまつわることなら何でもOK！写真やイラストの投稿も大歓迎です。記事を書いていただける方は左記連絡先までお気軽にメッセージください！

## ～天空の地上絵を日本遺産へ！～ 天の川・交野ヶ原 プロジェクト

交野ヶ原のみんなが紡ぐカコ・イマ・ミライ

E-mail : katanogaharapj@gmail.com

HP : <http://katanogahara.jp/>

FB : <http://www.facebook.com/katanogaharaPJ/>